

前 文

1. 大分県北・日田地方拠点都市地域の整備の基本理念

東京圏の人口集中の程度は依然として高く地方圏における人口減少が続くなか、大分県においては、「若者の定住と過疎からの脱却」を目標に、交通体系の整備、過疎対策、農林水産業の再生及び快適な生活環境づくりにより、質の高い「生活大県」をめざした基盤づくりが進められている。

大分県北・日田地域では、今後、北大道路の開通、東九州自動車道、九州横断自動車道等の整備により、北九州市、大分市及び福岡市との連携が強まるとともに、自動車関連産業の進出、大分北部中核工業団地の開発等による産業の集積によって人口増加が期待され、生活基盤の整備、都市機能の集積等定住環境の一層の整備が求められている。

このような状況下、平成4年8月、「地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律」が施行され、平成5年2月、大分県北12市町村の地域が地方拠点都市地域に指定された。さらに、中津市と日田市の一体都市圏形成を図り、豊前・日田回廊軸構想を推進するため、平成7年11月には日田地域6市町村が、追加指定された。

本計画は、以下の基本理念のもとに、大分県北・日田地方拠点都市地域において県勢の発展をリードし、地方定住の核となる「職・住・遊・学」の備わった魅力的な圏域を形成していくことを目的として策定するものである。

- ① 多核形成型の魅力ある都市圏構想
- ② 若者の定住をめざした賑わいの場づくり
- ③ 教育・文化の振興による元気な人づくり

2. 地方拠点都市地域の概要

1) 地方拠点都市地域の名称

大分県北・日田地方拠点都市地域

2) 中心都市名

中津市、日田市、宇佐市

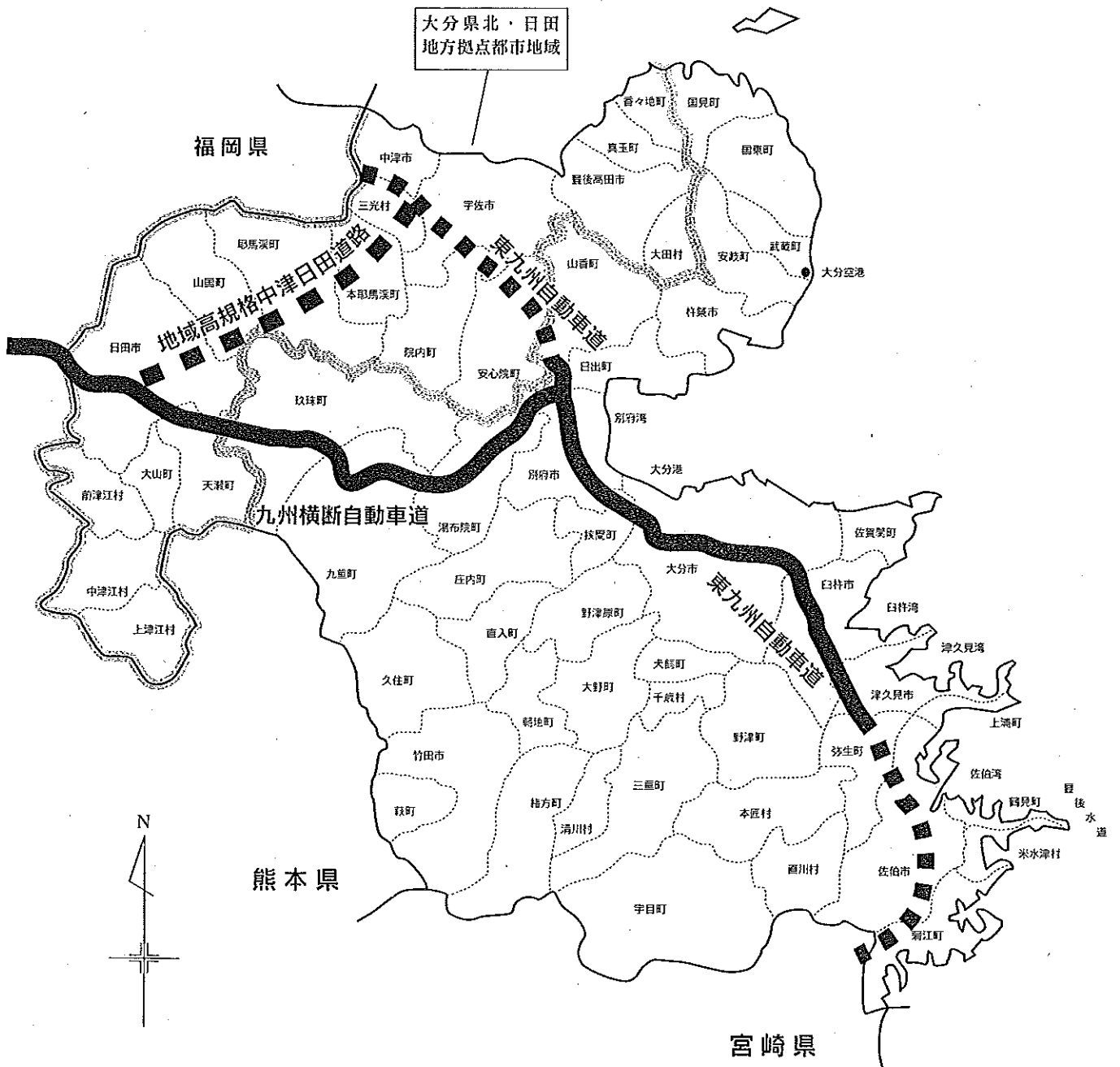
3) 地方拠点都市地域の構成

当地域は、中心都市である中津市、日田市及び宇佐市と、国東半島西側の中心地である豊後高田市及び中津ブロックの三光村、本耶馬溪町、耶馬溪町、山国町、日田ブロックの前津江村、中津江村、上津江村、大山町、天瀬町、宇佐ブロックの院内町、安心院町、豊後高田ブロックの大田村、真玉町、香々地町の4市9町5村（18市町村）から構成されている。

市町村名	人口(人) (平成7年国調)	人口増加率(%) (平成2年～平成7年)	面積(km ²)
中津市	67,115	1.1	55.54
日田市	63,849	△ 1.3	269.21
宇佐市	50,032	△ 1.6	178.23
豊後高田市	19,131	△ 4.8	124.57
三光村	5,663	2.2	46.02
本耶馬溪町	4,173	△ 9.9	85.46
耶馬溪町	5,934	△ 6.3	183.70
山国町	3,794	△ 6.8	119.85
前津江村	1,687	△ 8.0	78.99
中津江村	1,360	△ 9.6	81.91
上津江村	1,407	△ 4.6	88.53
大山町	4,226	△ 3.4	45.72
天瀬町	7,247	△ 5.9	101.83
院内町	5,339	△ 6.5	113.62
安心院町	8,448	△ 6.1	147.17
大田村	2,040	△ 3.1	46.07
真玉町	4,187	△ 4.8	44.38
香々地町	4,019	△ 6.8	37.65
18市町村	259,651	△ 2.0	1,848.45

面積は建設省国土地理院「全国都道府県市町村別面積調」平成6年10月1日による

4) 位置図



5) 圏域図

